

★各委員の意見に対する市の整理一覧★

ページ	審議会委員から提出されたご意見	当市の対応
計画全般	環境対策課がいろいろ努力をされ、「りゅうほー」を通じて市民への啓もう活動を展開されていることは承知していますが、重点取り組みを見ますと昨年と大きく変わったところがないなと言う印象です。審議会が開催されていれば細かな説明が聞けて印象が変わったかもしれませんが、文面からの印象です。	令和元年度につきましては、重点目標を設定して施策の展開を考えておりましたが、新型コロナウイルスの影響が大きく、りゅうほー等の周知活動や、リサイクルの推進という面で充電電池やインクカートリッジの回収を開始する等の活動に努め、当初想定していたイベント等は展開できない状況にありました。そのため、課題として残っていると認識しており、そのことから重点目標を大きく変更はせず、令和元年度に想定していたイベント等を実施することといたしました。
P.1	ペットボトルの搬入先に(株)協和が増えたことで事業所系の数字が見えるようになったのは良いことだと思います。	(評価のため回答なし)
P.1	木くず類の資源ごみが増えたのも、啓もうの賜物だと思います。	(評価のため回答なし)
P.3 (4)	(収集方法のインクカートリッジについて) 回収拠点を市の3施設から、さらに広げられないでしょうか。買い物のついでに、図書館へ行くついでに、など。回収箱に回収後、どのような形でリサイクルされるのかイラストでもあると、もっといいですね。	インクカートリッジにつきましては、民間企業による家電量販店等での回収も行われている現状がありましたため、既存の回収拠点に市の公共施設3施設を追加する形でインクカートリッジ里帰りプロジェクトに申し込み、回収を始めております。回収箱の設置場所につきましては、設置場所を増やすほど回収できる機会を増加できますが、設置場所を増やすほど管理に手間がかかる実情もありますため、まず3箇所の追加ということで始めたところです。設置場所の追加につきましては、今後の回収量や市民等からの要望等の状況をみながら、判断してまいります。

ページ	審議会委員から提出されたご意見	当市の対応
P.6 1-1	<p>上から3つ目の枠のリユースの検討の記述があいまいです。ここは市役所内におけるリユースと理解してよろしいでしょうか。「リユースが可能な廃棄物の有無について、検討を深めます。」ではなく「リユースが可能な廃棄物について役所内でのリユースの実施を検討します。」という方が分かりやすいと思います。</p> <p>また、市民のリユース促進という観点が弱いので、上から1つめの枠内のりゅうほーやホームページのところで、「リサイクル」⇒「リユース・リサイクル」にした方がよいと考えます。リユースはごみ減量というだけでなく、資源や製品の有効活用という視点が大きいので、「ごみ減量」だけで読み取る時代ではなくなりつつあるという認識です。</p>	<p>文章の表現(「リサイクル」⇒「リユース・リサイクル」)につきましては、いただきましたご意見に沿った形で修正いたします。</p> <p>また、リユースにつきましては、一度原点に立ち返り、市民が排出する廃棄物を市民がリユースする、又は市民が排出する廃棄物を市役所等でリユースする、の両方について改めて検討することを考えております。既に一度は検討が済んでいる事項であるとは認識しておりますが、社会情勢等の変化により、リユースできる廃棄物がある可能性を考慮しておりますため、表現を「検討する」ではなく、「検討を深める」としました。</p>
P.6 1-1	<p>「増加する外国人のため……、未作成の外国語については追加作成を検討します。」⇒昨年も同じ取り組み項目がありましたが、終わらなかったということでしょうか？それとも新たな外国語が増えたということでしょうか？町の景観という観点からも習慣の違う外国人には龍ヶ崎市のごみの出し方を徹底させてほしいです。</p>	<p>今年度当初、スリランカを母国とする外国人を想定し、新たにごみの出し方チラシを作成することで検討していたところですが、スリランカは主要な言語が複数(3つ)あることが判明しました。そのため、各地区から外国語の掲示物を作成して欲しいという要望を活用し、簡易版の掲示物を作成して経過観察を行ってまいりました。また、ベトナムを母国とする外国人も多いことが判明したため、スリランカ同様に簡易版の掲示物を作成して、経過観察を行っております。今後、市内の外国人の状況を確認しながら、効果的なチラシの作成及び周知徹底に努めます。</p>
P.6 1-1	<p>家庭における食品ロス削減のための啓発は、確かに重要と思います。さらにフードバンクへつなぐような話を加えられるといいのですが……。</p>	<p>フードバンクにつきましては、一方に余っている食べ物があ、他方で食べ物に困っている人がいて、それをつなぐことで、食品ロスの削減と、福祉の増進に寄与する事業として認識しています。</p> <p>事業の目的から、食品ロス削減を進める上で有効な手法の一つである反面、食品の賞味期限や消費期限の問題もあるため、その点を十分に理解していただくことで、円滑な運営がなされるものと思っています。そのため、次年度に予定している食品ロスについての周知活動を行う際、計画的な食材の購入・消費と併せて、家庭で不要となってしまった食品が他者の必要物になる流れを併せて周知していきたいと考えております。</p>

ページ	審議会委員から提出されたご意見	当市の対応
P.6, 7 1-1 2-2	<p>生ごみ処理機による生ごみリサイクルの効果は小さいので、他の取り組みを重視していかなければならない。この意味で、1-1で段階ごとに啓発するというアプローチは大切なことであり、適切と考える。ただし、施策実施やその有効性を高めていくことが難しいので、次年度に何をしていくべきかを見極められるように取り組みを進めていくことが望ましい。</p>	<p>来年度につきましては、オリンピック開催が見込まれ、自宅や店舗等での競技観戦に伴い、食品ロス削減の施策展開を進める上では重要な年になると考えております。そのため、重点施策として設定し、りゅうほ一や市公式ホームページでの周知を始め、イベント等へのブース出展を行ってまいりたいと考えております。</p>
P.6 1-2	<p>昨年度の審議会で土浦市の事例研究報告がありましたので、今年度は更なる進め方のことが出るのかなと思っていましたが、取り組み案では、昨年度と同じ表現で重点施策にもなっていません。この話は H24 年に審議会から答申が出されてだいぶ時間がたっていますので、実施するかどうかの決定がそろそろあってもよいのではないのでしょうか？有料化はごみ削減の手段としていくつかの自治体で実施され、龍ヶ崎の場合は最終処分場の寿命を延ばすためにも必要だと理解していますが、どのように進めるか具体的な内容が欲しいです。本当に実施したいのなら、土浦市やほかの市町村の結果をもっと公表し、市民に理解をもとめるべきではないのでしょうか。</p>	<p>ごみ処理の有料化につきましては、市民皆様の理解と協力の上で成り立つものと認識しております。また、実施に際しては、市民皆様の生活に影響を及ぼすことが予想されるため、その時期について細心の注意が必要であると考えております。</p> <p>現状につきましては、新型コロナウイルスによる経済状況の悪化により、市民皆様の生活を圧迫することが懸念されます。また、市民の方より、ご協力いただいている資源物のリサイクルについて、その資源が循環する流れが分かりづらいとのご指摘もいただいておりますことから、リサイクルに関する丁寧な案内や、土浦市の事例をご紹介しながらごみ処理の有料化につきまして、市民に理解が得られますよう取り組んでまいります。</p>
P.6, 7 1-2 2	<p>番号1-2で、マイバックにも環境負荷があるという理解で、家にあるマイバックを使うことを呼びかけることは大切であり、一歩進展。全体的にプラスチック対策であることを明示していないので、龍ヶ崎市がプラスチック問題への対策に後ろ向きのようにも見えてしまう。実態はそうではないと思うので、もう少し「プラスチック」という言葉を使ってはどうか。</p>	<p>マイバックやレジ袋につきましては、簡単に、かつ安価に入手できる状況から、安易に廃棄され、環境負荷に繋がるものと認識しております。その問題がプラスチックに関する問題であることにつきまして、表現を修正し、活動を進めていきます。</p> <p>【修正前】 マイバックについて、家庭にあるマイバックやレジ袋を繰り返し使用することを広く呼びかけ、新たなごみの発生抑制を図ります。</p> <p>【修正後】 マイバックについて、家庭にあるマイバックやレジ袋を繰り返し使用することを広く呼びかけ、レジ袋等のプラスチックごみを削減するとともに、ごみの発生抑制を図ります。</p>

ページ	審議会委員から提出されたご意見	当市の対応
P.6 1-4	<p>具体的品目として「リチウムイオン電池」を挙げていただきたいです。多くの市町村で困っている問題であり、自治体が声を出すべき状況にあります。文案としては、「・・・とりわけ、リチウムイオン電池についての働きかけを重視します。」というものです。</p>	<p>リチウムイオン電池につきましては、龍ヶ崎地方塵芥処理組合でも処理時における発火等の可能性がある品目として認識していることから、龍ヶ崎市から(一社)JBRCに一般廃棄物広域認定の申し込みを行い、市本庁舎、西部出張所、東部出張所に加えて、クリーンプラザ・龍も認定を受けたところではあります。そのことにより、ごみを分別処理する過程で発生するリチウムイオン電池等を除外し、リサイクルを推進しながら、クリーンプラザ・龍におけるごみ処理の安全性向上を図りました。</p> <p>しかしながら、容易に電池を取り除くことができない電子タバコ等、残された課題もありますことから、今後、拡大生産者責任という中で安全に処理し、リサイクルできるよう、広く要望を行っていきたくと考えておりますので、いただきましたご意見の文案を追加します。</p> <p>【修正前】 拡大生産者責任への認識の向上、さらにはその取組の徹底に向けて、県政への要望などを通じて働きかけを行います。</p> <p>【修正後】 拡大生産者責任への認識の向上、さらにはその取組の徹底に向けて、県政への要望などを通じて働きかけを行います。とりわけ、リチウムイオン電池についての働きかけを重視します。</p>
P.6 1-4	<p>勿論、一人一人がゴミを分別したり、減らしたりする努力が大切ですが、一方で、確実に商品の過剰な包装がある以上、ゴミが減らないと思います。業界団体への簡易包装化を強く働きかけて欲しいです。</p>	<p>ご指摘のとおり、市民の方が分別や減量に努めている反面、商品を製造、又は販売している業者等の包装につきましては、簡易包装等の減量化がなされているか疑問を感じる点につきましては、事務局としても同じ思いであります。簡易包装化の働きかけにつきましては、今後の要望において検討してまいります。</p>

ページ	審議会委員から提出されたご意見	当市の対応
P.7 2-2	<p>「各種イベントにブースを出展することで・・・雑紙リサイクルの認知度アップに努めます」⇒具体的なイベントは文書からは分かりませんが、燃えるごみの中には資源になる紙が含まれていると思いますので更なるPRが必要だと思います。</p> <p>ただ、面倒な分別が障害になっている面もあると思います。現時点では燃えるゴミ扱いになっている紙類も、技術が進んでいる昨今ですので資源ごみに含められるものもあるのではないのでしょうか？やられているとは思いますが技術情報収集や処理業者との共同検討などが必要ではないのでしょうか。</p>	<p>雑紙につきましては、クリーンプラザ・龍に搬入されている燃やすごみに一部混入していることがごみ質調査で判明しております。そのことから、継続した啓発活動が必要であると認識しており、次年度以降も継続した活動を進めていきたいと考えております。また、これまでリサイクルが難しいとされ、燃やすごみとして処分されていた紙類について、リサイクルが可能となる新たな技術開発等につきましては、多角的な情報収集に努めてまいります。</p>
P.7 3-3	<p>現在実施している「おはよう SUN 訪問収集制度」は、知らない人が多いと思います。私も詳しくは知りません。もっと広くPRして周知させて欲しいです。</p>	<p>おはよう SUN 訪問収集制度につきましては、集積所へのごみ出しに支障をきたしている高齢者、障がい者等の負担を軽減し、併せて安否の確認をすることで、高齢者や障がい者等の福祉増進、市民サービス向上を目的として展開しております。そのため、対象となる方につきまして、市福祉部局で関与しているケースがほとんどで、担当者や介護事業者等への周知を実施しております。</p>
提案	<p>「生ごみ削減レシピ」 食品ロスの取り組みで、竜ヶ崎二高に協力していただき、「リデュースクッキング」。簡単に地球にやさしいレシピを作成。</p>	<p>新しい提案として受け止めさせていただき、具体的な活動が可能かどうかにつきまして、今後、研究していきたいと思います。</p>
提案	<p>「ごみ減量達人コンテスト」 応募作品をりゅうほーや市公式 HP に紹介。「ごみ減量達人認定」のカンバッヂを作成等。</p>	<p>新しい提案として受け止めさせていただき、具体的な活動が可能かどうかにつきまして、今後、研究していきたいと思います。</p>

※意見の欄につきましては、各委員からいただいた意見を掲載していますので、読点や表現等に整合性はありません。